※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０５

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「言語文化」　（数研出版）						
副教材等	読解をたいせつにする体系古典文法九訂版　（数研出版） 論理的に考える「ＬＴ古文」（浜島書店）新訂版常用国語便覧（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
．様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
．家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
授業中のノートについては板書を書き写すだけでなく、授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

２　学習の到達目標

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」,「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	作品の主題について考え、述べる ［教材］「サラバ！」	a：文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート 振り返りシート
	古典の世界に親しむ ［教材］「児のそら寝」（宇治拾遺物語）	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート 振り返りシート
	作品の主題について考え、述べる ［教材］羅生門	a：文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート 振り返りシート
	古典作品の近代文学への影響を考える ［教材］今昔物語集	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：粘り強く『羅生門』と『今昔物語集』の差異を見極め、学習課題に沿って考察しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ノート ワークシート	ノート 振り返りシート ワークシート
二学期	古典にある教訓について考える ［教材］ある人、弓射ることを習ふに（徒然草）	a：典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c：積極的に漢文調の表現について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート 振り返りシート
	漢文の現代への影響を考える ［教材］「入門」（ズームアップ漢文由来の名付け）	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。	定期考査	ノート ワークシート	ノート ワークシート 発表
	短歌の表現について考え、お互いの解釈を比較する。	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解	定期考査	ノート	ノート

※令和４年度以降入学生用

	［教材］詩歌/短歌	を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 c：学習課題に沿って、粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。		ワークシート	ワークシート 発表
	俳句の表現について考え、自分なりに制作し、発表する。 ［教材］詩歌/俳句	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 c：積極的に俳句の作成に取り組み、見通しを持って、発表しようとしている。	定期考査	ノート ワークシート	ノート ワークシート 発表
	漢文の日本への影響を考える ［教材］「故事」（ズームアップ故事成語の用例を探そう）	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。	定期考査	ノート ワークシート	ノート ワークシート 発表
三学期	作品の主題について、述べる ［教材］「城の崎にて」	a：文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート 振り返りシート
	詩の表現のついて考え、お互いの解釈を比較する ［教材］「サーカス」	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　[古典]…　（　４０　）時間

[近代以降の文章]…　（　２０　）時間